



**経団連の「経営労働政策委員会(経労委)報告」の  
原案が昨秋に報じられ、25 賃金引上げにおいて、  
経団連は特徴的に以下を示しています。**

- ・ 23年、24年に実現した大幅な賃上げの定着が、企業の責務である。
- ・ 企業が賃上げをコスト増と捉えず、社員の意欲を高めイノベーションを創出し、生産性を改善・向上するために不可欠な投資と認識することが必要。
- ・ 経団連の調査で 24 年春闘の大企業の平均賃上げ率は「5.58%」と歴史的な高水準であった。

※ JR 東日本の 24 賃金引上げでは、定期昇給を含めて「平均 16,973 円・5.01%」です。なお、会社は 23 年秋に実施した「扶養手当の増額」「管理者等手当の増額」や 24 年春に実施した「初任給調整」等を含め、「全体の引き上げは平均 20,205 円・5.96%」と公表をしています。

※ 経団連はこの経営労働政策委員会報告を、2025 年 1 月に正式に公表します。

経労委報告は経団連が春闘を前に策定をし、経営側が春闘で労働組合などと交渉をする際の指針ともなります。なお、JR 東日本相談役・富田氏は、経団連の審議委員会の議長を務めています。

支部主催・	11:00～	開始・主催者あいさつ
全分会三役会議	11:30～	「秋の取り組みの総括」と「25 春のたたかい」の問題提起
	11:45～	全体討論
1月27日(月)に	12:45～	昼食・休憩
なかの ZERO/	13:30～	「25春闘」についての問題提起
西館学習室1にて	14:00～	全体討論
開催します。	15:00	終了